

科目名	在宅看護学特論 I Home healthcare Nursing I	科目区分	専門	単位数	2単位
教員名	佐々木裕子, 白井裕子, 加藤明美	必修・選択	選択	開講年次	第1学年
				開講学期	前学期
科目概要	在宅看護学を探究するうえで基盤となる理論的な根拠を学ぶ。具体的には、在宅看護学の定義、在宅看護学の基盤となる主要な概念と理論について学修し、その応用について探求する。また、在宅看護実践で用いる援助方法について学修する。				
目 標	1 在宅看護学の定義、在宅看護学が基盤とする主な概念について論じることができる。 2 在宅看護学の基盤となる理論—個人・家族・生活環境に対する理論について説明できる。 3 個人・家族・生活環境に対する理論の応用と援助方法について説明できる。				
内 容	1	オリエンテーション	授業の進め方 在宅看護学における現状と課題	佐々木裕子 白井裕子	
	2	在宅看護学の対象理解	社会状況, 家族状況, 在宅ケア・在宅看護の利用者理解	佐々木裕子 白井裕子	
	3	ヘルスプロモーションの理解と在宅看護への応用	ヘルスプロモーション	佐々木裕子 白井裕子	
	4	在宅看護学の基盤となる理論①(個人に対する理論)	生活史, 生活支援	佐々木裕子 白井裕子	
	5	在宅看護学の基盤となる理論②(家族に対する理論)	家族看護モデル	佐々木裕子 加藤明美	
	6	在宅看護学の基盤となる理論③	ウェルネス, 強化理論: ストレングスモデル	佐々木裕子 白井裕子	
	7	在宅看護学の基盤となる理論④	協働的パートナーシップモデル, エンパワメント	佐々木裕子 白井裕子	
	8	在宅看護学の基盤となる理論⑤(生活環境に対する理論①)	ICF, コミュニティアズパートナーモデル	白井裕子 佐々木裕子	
	9	在宅看護学の基盤となる理論⑥(生活環境に対する理論②)	ノーマライゼーション, ソーシャルインクルージョン	白井裕子 佐々木裕子	
	10	在宅看護学の基盤となる理論の応用と援助技術①	概念・理論を用いた実践事例分析①	佐々木裕子 白井裕子	
	11	在宅看護学の基盤となる理論の応用と援助技術②	概念・理論を用いた実践事例分析②	佐々木裕子 白井裕子	
	12	在宅看護学の基盤となる理論の応用と援助技術③	概念・理論を用いた実践事例分析③	佐々木裕子 白井裕子	
	13	在宅看護における研究・実践の検討①	文献レビューとディスカッション①	佐々木裕子 白井裕子	
	14	在宅看護における研究・実践の検討②	文献レビューとディスカッション②	佐々木裕子 白井裕子	
	15	在宅看護における課題と展望	まとめ	佐々木裕子 白井裕子	
学修方法	1 授業中に提示する。参考図書や授業内容に関する文献を十分に読み込んで授業に臨むこと。(90分程度) 2 授業では学生のプレゼンテーション, ディスカッションを通して学びを深める。 3 授業内容への質問, プレゼンテーション及びレポートの内容についてはフィードバックを行い, 学修効果を高めていく。 4 1コマあたり, 90分以上の事前・事後学修が必要となる。				
評価方法	授業でのプレゼンテーション(40%), 課題レポート(60%)から総合的に評価する。				
教科書・参考書	テキスト: 特に指定しない。 参考書: 授業中に適宜提示する。				
履修上の注意	大学院生主体で授業を進めるため, 毎回学修課題を明らかにして参加すること。				
オフィスアワー	佐々木裕子: 月曜日 15:45~17:15 看護学部棟3階 N352 研究室 白井裕子: 月曜日 15:45~17:15 C棟5階 個人研究室② ※ 兼任・非常勤講師については別紙にて配布する。				